

56

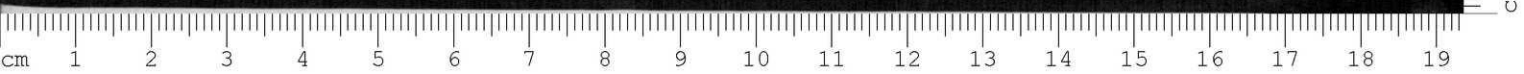


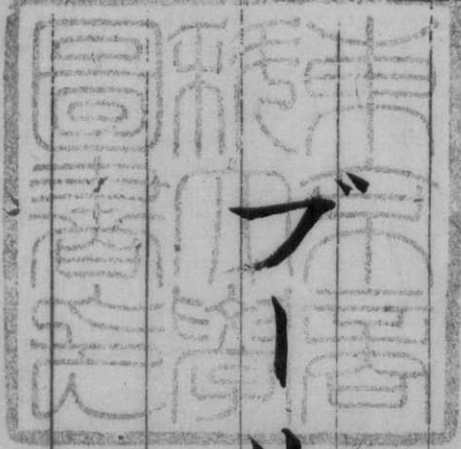
明治三十五年

ブールス

本科三年生

中川精吉





ブルス

明治三十五年五月

昭和十年五月廿三日
學生課 白川 寄贈

本科第三年二組

中川精吉

ブールス論

題シテぶうるすト称ス、取引所ノ謂ナリ、何ヲカ取引所ト云
 フヤ、尚ニ答フルニ、簡單ナル文字ヲ以テ示スハ容易ニア
 ラズ、之レ一種妙味アル活動ヲ為ス所ノ一高業機關ナレバ
 ナリ、世人ノ多クハ之ヲ想像シテ曰ク、相場師ノ集合所ニシ
 テ、物價ヲ變動セシムル所ナリト、此ニ所謂相場師ナルモノ
 ハ、山師ニシテ、世人ノ嫌疑スル所ノモノナリ、取引所ナルモ
 ノハ、果シテ斯ノ如キモノカ、吾人ハ世人ガ曲解ニ陥リ、其真
 意ヲ誤レルヲ悲マレズンバ、アテズ、然レモ、翻テ考フレバ、局
 外者タル世人ガ、其考ヲ以テ至ラシメシモノ、又故ナキニア
 ラズ、故ニ吾人ハ之ヲ研究シテ、其誤想ヲ探テ、益之レガ叢進
 ヲ希フモノナリ

抑取引所ナル文字ハ之ヲニ様ニ解スルヲ得可シ一建

物ニシテ他ニ即市場ナリ建物ニ市場ノ所在ヲ示ス所ノモ
 ノナリ之レナクニテハ市場後者ノ所謂取引所ノ存在ヲ認
 ヲザルナリ而シテ世ニ所謂取引所ト稱スルハ後者ノ意味ニ
 於ケル取引所即取引市場ヲ云フ此市場コソ實ニ重大ナル
 關係ヲ實業社會ニ及スモノトキフ可シ
 今尤ニ取引所ノ定義トシテ下シタルモノ三四ヲ掲ゲ以テ
 其意義ヲ額ハシテ欲ス

- (一) 取引所トハ一場ノ下ニ株式商品ヲ取引スル市場ナリ
- (二) 一定ノ時一定ノ場所ニ於テスル商人ノ集會
- (三) 取引所トハ市場ノ一種ニシテ代替物ヲ取引スル場所ナ
 リ
- (四) 一定ノ時ニ於テ商人が高取引ヲナス為ソ一定ノ場処ニ
 集り一定ノ制規ノ下ニ或品物ノ需要供給ヲ適合セシム

ル一種ノ商業機關ナリ

(二) 取引所トハ主ニ定期賣買ノ方法ヲ以テ株式及商品ノ取
 引ヲナス市場ナリ

以上ノ外数多アル可シト雖モ是等ニ依テ大伴其何者タル
 ヤヲ知ルヲ得レ一第一ノ定義ニ未ダ後述セザル取引所ヲ
 見テ下シタル見解ナリト云フ可シ之レ仙獨ノ田舎ニ行ケ
 バ稀ニ此種ノ取引所アリト雖モ巴里ニ於ケルモノ又ハ他
 村其他大都ニ存在セルモノハ悉ク商品ノ取引所証券ノ取

引所ニ區別セラレルヲ見ル即取引所ハ斯ノ如ク市場ナリ
 (一) 一定ノ場所ト商人ノ集會ニ即市場ノ要素ナリ此ニ若ク
 リテ垢ヲ市場ナルモノヲ構成ス而シテ商人ノ集會ニハニ
 要件アリ一一定ノ時ニ於テ集スルト他ハ高取引ノ為ソ
 ニ會スルヲ要ス茲ニ垢ヲ商業機關トシテノ活動ヲ見

得可キナリ然レモ是レ一ノ市場ニシテ取引所ト云ヒ難
 (三)取引所トハ市場ノ一種ナリ普通ノ市場ニハアズ美
 ヲ高單ニ言ヒタリト云フ可シ(四)果(三)ニ同じ只一定ノ制規
 ノ下ニトアルハ取引所法ノ規定ヲ指シタルモノナル可シ
 而シテ第五ノ定義ハ最モ現今ノ取引所ニ適スルモノト云
 フ可シ右圖取引所ノ取引ハ殆ド定期売買ノ方法ニ依ル
 統計ノ示ス所ナリ之レニ依テ之ヲ見レバ取引所ナルモノ
 一種ノ高業機關ニシテ或品物ノ需要供給ヲ適合セシム
 ル市場ノ一種ナルヲ知ル其普通市場ト異レルハ取引所
 法ナル一定ノ制規ニ從テ活動スルヲ必要トスレバナリ
 奈ガ茲ニ所謂取引所法ナルモノハ成文法タルト不文法ト
 ルトナリ同ハザルナリ
 次ニハ市場ナルモノハ如何ニ組織ナレトアルカヲ見ル

取引所

ニ商人が集會スル所ノ市場ノ所有主ト市場ノ存続スル所
 ノ建物ノ所有主ト其人ヲ異ニセルアリ或ハ同じキモノアリ
 リ之レニ依テ其組織ニモ差異アリト云フ可シ株式会社ナ
 ル法人が建物ノ所有主ナリ且市場ノ持主ナル所謂株式組
 織アリ斯ル場合ニ於テハ会社ハ市場ニ於ケル事務ヲ處理
 スルモノナリ商人ハ手数料ヲ払ヒ茲ニ取引ヲナスナリ一
 定ノ仲買ナルモノガ其職ヲ世襲シ或一定ノ數ヲ以テ会社
 ヲ結ビ賣買取^引其他凡テ此等ノ手ニ依テ為サルモノアリ
 之ヲ仲買組織ト云フ廣ク合資ヲ募リ其合議ニ成レル規則
 ニ從テ行動スル所ノ會負担組織アリ會欠ハ建物ノ所有者
 入場料ヲ支払ヒ市場ニ於ケル整理ノ役欠ハ建物ノ所有者
 ニ何等ノ關係ナリ會欠ノ欲スル所ニ從テ免任スルヲ得
 ルモノナリ右圖皆同じカラズト異モ概會欠組織ヲ採レル

モノ、如し之し即其貴達ノ程度徐々ニシテ且其文明ノ程
 度殆ド口ジケレバ互ニ相近キナルノ結果トシテ見ル可シ
 然レ氏根本的ニ等一ナリトシ到底キフ可キトシテアラズ何
 トナレバ名取引所ニ個々特有ノ履歴アリ販却し能リザ
 ルノ懐疑ニ之ヲ妨グルヲ以テナリサレバ共ニ金欠但債ナ
 リト雖モ仙國ニ仙國流ノ取引所アリ英國ニ英國流ノ
 取引所アリ而シテ歐洲大陸ニ仙國ヲ宗トシ英米兩國ニ英國
 ヲ宗トスルモ、如シ然ラバ單ニ其名ノ但債ニ就テ之ヲ
 是非スルイハ宜シカラズ其土地ニ於ケル取引所ノ履歴ヲ
 考ヘ其地ノ凡俗習慣ニ鑑ミテ之ヲ研究スルノ必要アリ歐
 米日今ノ但債ニ現下適當ナルモノニシテ吾國株式担保但
 債ニ我現状ニ適當セルモノナリ世ニ我國ノ但債ヲ以テ云
 々スルモノアリト雖モ彼レ等ハ市場ニ於ケル取引法ノ統

界ヲ見テ組織ニ原因スルモノナリトナス曲解者ナリ但債
 ハ敢テ社會ニ影響ヲ及ボスモノニアラズ市場ノ存續が吾
 人ニ種々ノ現象ヲ見セシムルモノナリ我國取引所法ニ依
 レバ金欠但債取引所ノ設テ許シ又株式但債ノ取引所設
 テテモ許可セラルルヲ見ル之し最初株式但債ヲ採用シ
 リシ取引所ニ世人ノ攻撃ト者事者ノ意思トニ依テ金欠但
 債ニ改メラレシムガ再ビ株式但債ヲ採用セリ其我國ノ事情
 ニ適スルモノアレバナリ而シテ改正法發布ニ依テ前會社
 但債ノ変更ヲ画ビスルハ當事者ノ為メ不便ナリト考
 出デシモノナレ氏今又金欠但債ヲ採ルモノ一モナシ然
 レ氏我國ノ株式但債ニ單純ナルモノニテラズシテ所謂担
 保但債ナルヲ外國ニ其例ヲ見ガル所ナリ或人曰ク斯ノ
 如キ但債ニ取引ノ安全ヲ計ルニ似テ可ナルガ如シト雖一

且恐慌起ルニ際シテハ取引所ハ到底之ヲ救ヒ得可キニア
 ラズ終ニ取引所ハ悲境ニ陥リ延テ商人ヲシテ踏頭ニ迷ス
 モノナリト莫ニ然リ若シ之ヲ当事者ニ任セバ各自之シカ
 負担ヲナスハ当然ナリ又商人トシテ進ンデ之ヲ為サレ然
 ルニ取引所ノ担保ニ對シ常ニ証拠金ヲ差入レ留保ヲナス
 ハ信用ノ發達ヲ妨止スルモノトナフ可シ然レハ人ハ非ニ
 アラズ君子ニアラズ悉クノ人向ガ絶社船ニ誠實ノ心ヲ有
 スルモノニアラザレト今ノ商人ニ依テ流動スル商業ハ完
 全ナル信用ニ依テ發達シ得可クモアラズ曰キ人ニ誠實ノ
 心ナレト議レル歐洲人モ亦担保ナル制度ヲ採用スルニ至
 レリトハ制度タル商人ガ取引所以外ニ設ケタルモノナリ
 現下ノ場合ニ於テハ何レニスルモ必要ナル可シ对人信用
 ハ發達セザル以上ハ当然起リ得ルモノナレバナリ加之其

相キキニ至ニ保障ヲ附シタルノ念慮ニ於テ満足シフハア
 レバナリ
 前述スル所ニ依テ吾人ハ取引所ノ意義ヲ知レリ又其但織
 ヲ認ヘリ之レヨリ進ンデ市場ニ於テ行ハルル愛買ノ方法
 及其取引ノ社会ニ與フル影響其方法ニ依テ来ル所ノ現象
 ヲ究メントス
 取引所ニ其取引セラルル物品ニ伴ヒ産物ノ取引所アリ
 証券ノ取引所アリ一ハ公債社債株式等ヲ取引スル市場ニ
 シテ他ハ米綿小麦鐵等ノ高品ヲ取引スル所ナレ共ニ直
 取引延取引定期取引ナル方法ヲ以テ取引セラルルハ一ナ
 リ直取引ハ英語ノ現金取引ニ相當スルモノニシテ即時ニ
 現物ノ受授ヲナスニナリ賣ルモノハ現金ヲ即時ニ要スル
 ガ為メニ賣リ買フモノモ亦早ク現物ヲ手ニスル必要アリ

ヲ受フナリ然レ氏實際ニ其日ニ受渡サルルナリシテ米
 國ノ如キ証券取引ニ在取リノ外ニ始ド行ハシザルモ其
 翌日ニ受渡セバ可ナリ(ニ)延取リニ當事者ノ隨意ノ期限ニテ
 之ヲ行フモノナリ故ニ受渡期限ニ長短アリ(三)定期取引ニ
 即ちモ盛ニ行ハルルモノニシテ一定ノ期限ニ受渡ヲ為ス
 可キ取引ヲキフ其規定ノ如キニ國ニ依リ一定セズ或ニ物
 件ニ依リ一定セズ然リ而シテ取引所ニ定期賣買ニ依リ生活
 スト云ヘル人アリ故ニ以テ其取引方法モ亦種々アリ一定
 ノ期限ニ受渡ヲ結了セザル可ラガル定期賣買アリ之レ
 單純ナルモノニシテ普通定期ノ賣買ト稱スルモノナリ或
 ニ約定期限前ニ當事者ノ一方が相當ノ歩合ヲ払フハ其
 契約ヲ解除ヲ求メテ受渡ヲ免ルル取引方法モアリ之レ變
 則ノモノニシテ独逸等ニ於テ盛ニ行ハルル所ノモノナリ

彼ノ差金賣買トキニ扱扱賣買ト云フ皆之ナリ或ニ受渡期
 限ニ至リ延期スルモノアリ其他數多ノ妙法アリト皆皆契
 約ノ時ヨリ受渡迄ノ間ニ或永キ時日ヲ置クモノナリ故ニ
 此期間ニ常ニ相場ノ變動シフ、アル時ニシテ當事者ニ受
 渡ノ時ノ相場ヲ見込テ契約スルモノナレバ賣買ニ從事ス
 ルニ十分ノ經驗ヲ要シ主派ナル判断力ヲ要シ才能ヲ必
 要トスルモノナリ換益ヲ豫メ算セシニ大ナル考慮ヲ以
 テシ種々ノ流動ヲ引起サレニ果斷ナカル可ラズ我國ノ
 如ク受渡期限ノ三ヶ月制ニテリテ最長ノ期限ニシテ以
 期同着人ニ不安固ノ位置ニアルモノナレバ成ル可ク自己
 ノ欲望ヲ満ササレトシテ種々ノ策案ニ執行サレ社会ヲ益
 スルモ時召ニアリ又弊害ヲ与フルモ其期間ニ起因スルモ
 ノナリ其取引ニテリテ其期間至テ短キヲ以テ特別ナル

解カフ必要トセズ單ニ需要供給ヲ適合セシムルニアルノ
コ之レニ及シ愉快ナル取引ニハ定期取引ニアルヲ存ス取
引所ガ他ノ市場ト異レル亦茲ニ在リ

定期取引ノ右ノ如ク或期間ヲ利用シテ勝敗ヲ争フモノナ
リ即投機的性質ヲ有ス今投機ノ性質ニ就テ考フルニ普通
高業ト異レルノ点ニ只價格ノ変動ヲ豫想スルヲ後者ヨリ
大ナルアルノコ他ニ何事ノ義異アルトシ投機取引ハ次シ
テ賭博ニアラズ高業ト同じク財産権ノ愛護ナレバナリ即
進歩セル高業社會即生存競争ノ烈シキ社會ニハ当然採用
セラル可キモノナリ消費者ノ需要ヲ直接ニ満スルヲ設ケ
ラシムルモノハ真正ノ取引所ニアラズト以テ知ル可シ取
引所ニ投機ノ性質ヲ完全ニ具備スル定期取引ヲナスニ依
リ始メテ取引所ノ効果著シキヲ知ル

本
の
論
が

心
算
の
自
明
の
物
件

定期取引ハ投機ノ性質ヲ完全ニ具備スル唯一ノモノナレ
氏直取引モ亦全ク投機ノ具トナラザルニアラズ期間ノ糸
リニ短キガ為メ之ヲ為スモノ少キナリ其殆ド高業取引ノ
普通ナル形ヲ呈スレバナリ而シテ投機取引ノ目的物タル
物件ニ悉ク凡テノ代替物が採用セララルルニアラズニテ或
物ニ限ララルルモノナリ即取引其モノガ已ニ投機ノ性質ヲ
有スルモノナレバ以シガ目的物モ之ニ相応スルモノナ
ラザル可ラズ然ラバ如何ナル物件が取引セラルルヤト云
フニ次ノ三要件ヲ具備スルモノニ限ル其需要ハ萬國の十
ルニ生産力ノ確知ス可ラザルモノニ代表の性質ヲ有スルモ
ノ之ナリ此要件ヲ具備スルニ由テ何故ニ投機取引ニ適合
スルカ一地方差シクハ一國ニテ需要セラルル貨物ハ其範
圍内ニ於テ投機取引行ハラルモ交通様度ノ發達ト高業ノ

進歩、其仕事、世界的トナルモ、ナレバ此ニ対スル取
 リ物件モ從テ其需要、世界的トナラザルヲ得ズ然ラズシ
 バ其物件、便ニ或少数、需要ニ依テ一定セラルルノ恐ア
 レバナリ之レ投票取引ノ性徴ニ及ス第ニノ要件ニ投票取
 リノ粗成産品ニ限ルトテテ意ナリ製造品、如キニ其伴編ニ
 生産者ノ掌中ニ在テ自由ニ若シ得レドナリ又外國貿易
 ノ目的物ニル半製品ニ例外ナリ之レ其需要依テ極ニテ
 変動シ易キヲ以テナリ然レ此之レニ対シ独占的性質ヲ有
 スル貨物ニ此等ノ独占者ノ意思ニ依リ優待ノ変動ヲ来サ
 シムルト容易ナルヲ以テ不可ナリ故ニ其初メ取引ノ目的
 物ニリシモノモ一度トラスト、如キモノニ後テ独占ノ形
 状ヲ帯グルニ至レバ取引所ヨリ駆逐サレルモノナリ第三
 ノ要件ニ投票取引ノ未來ノ受度ヲ期スルモノナレバ之レ

ガ標準ナカル可ラズ即代表シ得ルモノナラザル可ラズ株
 券ノ如キ然リ又見本高標ヲ以テ此性質ヲ表シ得ル米綿ノ
 如キ然リトテテ可シ然リ而シテ此ノ要件ヲ具備セザル其他
 ノ物件ニ取引所ニ上ラザルカ否現今ノ取引所ニ斯ル程度
 迄ニ普及シ居ラザルナリ此要件ヲ欠ク所ノモノモ取引セ
 ラルルアリ然レ民漸々市場ヨリ駆逐セラレワ、アルハ唯
 ナリ之ヲ以テ見レバ定期取引ノ普及ヲ為シテ、アルハ敵
 フ可ラズ利ニ敵キ高人が一定シタル高取引ヲ以テ海運ニ
 得可シト考フルハ愚ナリ見ヨ普通取引ニ於テモ先物ノ賣
 買盛ニ行ハレ来リシニアラズヤ末着高品ニ於ケル賣買ノ
 如キ然リ之レ進歩セル國民ガ到然焉又可キ處ナリ故ニ末
 末ニ於テ經濟社會若シク普及セルカ定期取引モ普通ノ賣
 買トシテ認メラレ敵ヲ怪ケモノナキニ至ル可シ

取引所ニ於テハ右ニ述ベタル如キ方法ヲ以テ感、取引行
 ハレフ、アルモノナリ此カニ取引ノ行ハルル結果種々ナ
 ル影響ヲ社会ニ興フルモノナリ或ハ利トスル所ノモノア
 リ或ハ害スルモノアリ然レモ其利ナル点ハ實ニキフ可ク
 ダルノ妙味ヲ有スルモノニシテ其社会ヲ益スルト至大ナ
 リトキフ可シ今此ニ其如何ニ社会ニ功獻シフ、アルカ
 何ナル弊害ヲ醸シフ、アルカ之ヲ簡單ニ述ベテ本章ヲ終
 ヲレト欲ス

諸愛買ニハ相場ノ標準ナクレバアラズ然ラザレバ愛買ア
 ル毎ニ而モ個々ノ愛買ニ就キ之ヲ定ケルノ煩勞ヲ取ラザ
 ル可ラズ故ニ相手方ノ如何ニ依ラハ安ク買ヒ得可キモノ
 モ亦ク買ヒ得ク賣リ得可キモノ安ク賣放ツテアル可シ然レ
 ニ取引所ニ於テ需要供給ノ競争ニ依リ一定ノ相場ヲ定メ

相場

ルガ如キ愛買者双方安心シテ取引スルコトヲ得可キ市場以
 外ノモノハ以テ是ノ相場ニ準ジ思惑ヲ立ツルコトヲ得可シ
 故ニ其土地ニ於ケル高工業ノ利便甚大ナリトキフ可シ加
 之現在ニ於ケル需要供給ノ外ニ於テ想像的觀察的ノ主流
 ナル識見ヲ以テ相場ヲ中心ニ維持スルモノナレバ便税ノ
 標準ハ益確定ヲ来シ高工業ガ未来ノ慮ヲシテ安ゼシケル
 コトヲ得可キナリ斯ノ如キ性質ハ取引所ニ特有ノモノニシ
 テ其數少キ程其効力著シキモノトス亦其地方的取引所ハ
 數多クアルヲ妨ゲズモ亦中央取引所ノ設立ハ勢ハ然レ可
 キ知ニシテ地方的取引所ノ中央取引所ノ相場ニ準ズ可キ
 モノトス余輩ハ信ズ高業ノ中心ニハ取引所ノ中心アリ其
 社会ノ進歩著シク至ル知レバ状態ハ發達セバ取引所ハ自
 然ニ共通ノ状態ヲ呈ス可キモノナリ一國ノ中央取引所ハ

漸時他外國、取引所と共通し萬事世界的トナレル時ハ
 世界ヲ通ジシ一中央取引所ヲ生ズ可キヲ疑フ能ハザル可
 シ取引市場ハ斯ノ如ク決定ノ相場ヲ定メルノ性質ヲ有ス
 之ハ、依リ市場ニ上ル所ノ物件ニ大ナル數量ニ於テ容易
 ニ取引セラルルモノトシテ代替物ニ容易、現金ニ引換フ
 ルヲ得ルナリ其結果クライシスノ率分ヲ減サセシムル
 ヲ得可シ之レ轉賣買戻ノ自由、依テ取引ノ円滑ナラシム
 レバナリ又賣買容易ナルヲ以テ没本投資ノ方便ニ大ナル
 影響ヲ及ボスモノナリ即先、不動產ニ投資シタルモノモ
 シヤ動產ニ移スモノトシテ見ル之ニ株式ヲ換得ノ取
 リガ非常ナル喜ニアルヲ以テ証ス可シ即高工業發達ノ徵
 ニアリズヤ又此レ吾ノ証券ニ投資スル者多クレバ今社若
 ノ事業ヲ進歩セシムルヲ明ナリ又一方ニ於テハ動メスレ

附錄

バ一種ノ賭博場ニ陥ルノ弊ヲ生ジ察シ然レバ之ヲ恐シテ
 禁止セシカ一方ニ於テハ經濟社會ノ秩序ヲ失ヒ他ニ各
 所至ル如ク賭博場ヲ生セシ之ヲ除クモノハ取引所アルハ
 ナリ之レニ依リ之ヲ見レバ取引所ハ普通ノ市場ニ其性質
 ヲ異ニシ一定ノ秩序ニ依リ或方法ニ依リ資本ノ運轉軌道
 ヲ設法ヲ定メテ行ハルモノノ性質ヲ有ス
 斯ノ如ク利大ナレバ必ズヤ之ニ伴フ弊害ニ免レズ投資
 ノ性質ニ附隨シテ当然起ル可キモノナリ在國何レノ取引
 所ニ於テモ以テ事ハル所ニシテ非投資額大ニ行ハ
 レ定期賣買ノ氣勢ヲ挫カレトスル所ノ法令ヲおスヲ前後
 一ニシテ是ラズ然レバ常ニ其効果思ハシカケガルノナリ
 ンズ實業者モ亦必ズ之ヲ羨視シテ心服スルモノナリ且
 法律ヲ以テ干涉セシトスレバ有益ニシテ有益ニシテ且必

要ナル真正ノ定期取引ヲシテ阻害スルノ不韙ヲ来ス可キ
 下リ枚擧其モノハ以テ非難ス可キモノニテアラズ之
 ヲ運用スル所ノ人ガ取ル方法如何ニテアルハシ
 弊害ハ何ゾ種々アリトテ可シ買占ヲシテ独占以テ人
 為的ノ相場ヲ造リ利益ヲ攫セントスルモノアリ此方法々
 ルヤ未ダ一モ成功シタルモノナシ然レモ成功セバ大ニ優株
 之変動ヲ来サシ即人為的ノ優株ヲ生ゼシ然レモ其買占ノ
 ロルヤ世界的ナルヲ至難ナルヲ以テ彼レ等ガ専ク賣ラレ
 トスルノ時他ニ安ク得ルモノアリテ其欲望ヲ逞フスル所
 ハザラシム又之レトテ及利ノ方法々々賣崩シタルモノアリ
 人為的ノ優株ヲ下落セシムルモノナリ或ハ實際取引ヲキ
 ニ及想ノ取引ヲ為サシメ相場ニ影響スル所アラシメ或ハ
 重役ノ自レノ株式ヲ騰貴セシムレトシテ不正ノ手段ヲテ

レ或ハ株式申込ニ対シ憂畏ヲナシ世人ヲ誤ラシムルモノ
 アリ或ハ單ニ差金ヲ得ルノ目的ヲ以テ種々ノ方法ヲ案出
 シ卑劣ナル手段ヲ施スモノアリ殆ド賭博ニ等シキモノアリ
 リ以上ハ弊害ニテ相違ナシトモ世々々々人ガ之ヲ以テ取引所
 ヲ嫌悪スルノ理也ナキモノト余ハ去テ輝ラガレナリ世
 人ガ之レニ従事スルモノヲ用シテ山師ナル悪業味ニ於テ
 ニ相場師ナリト絶叫スルノ故ヲ知ラザルナリ仲買人等ハ
 此等ノ相場ヲ立コル相場師ナリトテハ未ダ略ルルニ足
 ラザラレカ
 要スルニ之レ等ノ弊害ハ憂畏契約ノ時ヨリ受渡し期日ニ
 至ル迄ニ或日數ノ存在スルニ起因スルモノナリ之レニ依
 テ定期取引ノ方法ニモ種々ノ変態ヲ生ズルモノナリ或ハ
 種々ノ方法ヲ用テ依テ満足ノ効果ヲ得ンテ務ムルモノナリ

生不可ナリ今以期限。固し世ノ學者ノ謂フ所ノモノヲ
 揚ゲ所謂學究ナルモノニ就テ詳細ヲ窺ハシトス
 已ニ前述セル如リ定期取引ノ期限。一定セズ一週日ヲ以
 テ受渡ヲ統ラスルモノアリ半月。且ルモノアリ而シテ最長
 期限。三ヶ月ナリトス我國。以制ヲ採用シ歐米諸國。其
 初ノ三ヶ月制ナリシモ今や半月系シリ。一ヶ月ナリトス
 之レ大陸金利其低ノ劇シキ而シテ股變動ノ急ナル長期取引ノ
 不可ナルヨリ茲ニ至リシナリ可シ取引所ノ唯一ノ目的。
 是定ノ相場ヲ立アルニ在リ此目的ヲ達スル限リ。可成安
 全ニ信用ヲ保フノ極メテ必要ニシテ徒ニ長期ノ下ニ投機
 心ヲ增長シ社会ヲ毒スルノ策ヲ施スニ至ラシム見ヨ取引
 所ノ未ル所ノ小資本家。此取リ期間。於テ外來ノ支障。
 遭ヒ進退存リ如何トモスル能ハザルノ時。一条ノ血跡ヲ

三十日乃至九十日ノ間ニ求ム其中。一時期到來ス可シト
 テ無理算戻ヲナシ空手形ヲ作り而シテ不渡トナラシムル
 常態ナリ然シ短期ナレバ假令過完アルモ大事ニ至ラザル
 可シ此長期コソ千石禍福ノ伏在スル所ナリト又テモノ
 アリ空取取引ノ將來ノ相場ノ高低ヲ見越シテ陽物ノ市場
 ニ争フモノナレト苟モ神佛ニアラザルヨリ。一。天候ノ變化
 經濟界ノ消長政事外交ノ樞密ニ得テ知ル可ラズ此不可能
 的ノ留ニ處シテ憂悶ヲナス危險千萬ナリトテ可シ宜ナ
 ル哉世人ヲシテ相場ニ手ヲ出シ資産ヲ傾ケザルモノ。一。ア
 ラゲルナリトテ。一。一。實ニ現今取引所仲買荒ニク。一。此筋
 ノ大手筋。一。必實此長期コソ自家ノ腹ヲ肥スノ佳者ナリト
 之ヲ短期トシ受渡ヲ統ラセシメバ比較的變動少ク從テ危
 険ヲ厚生スルノ恐ニ甚シカラズ且短期ノ為メニ空物ノ賣

受て減少して従つて商品其他ノモノニ於てモ受渡目録ノ行
ハル可シ此ニ至リ世上現物取引ノ外定期トキハ賭博視
シ思フヤ市場ニ入ルルヲ取トスル実業家モ安全ト確實ニ
倚賴シ手ヲ株式等ニ下スニ至リ此ト同時ニ微力空相場
的賣買ヲナスノ徒輩ハ自然此社會ヨリ脱去シ結局真正取
引ノ普及ヲ促スヲ得ル等ハ短期ノ利益ニシテ長期ノ不可
ナル所以ナリ然レ氏長期ヲ利用シテ煽リモシ叩キモシ素
人筋薄資者ヲ誘キ次第ニ掌上ニ譟弄シ遂ニ勝優ノ結果ヲ
得テ揚々トシテ此社會ニ處スルモノハ不服ナル可シト
夫レ取引所ノ弊害ナルモノハ斯ノ如シ長キ期間ヲ利用シ
テ買ハテテシ取ハ賣崩ラセシテ人爲的ノ相場ヲ立テシト
シ轉賣ニ依リ買戻ニ依テ實際ノ取引ヲ減少セシメ所謂投
機者ナルモノハ、蹂躪ニ依テ取引所ナルモノハ真正ノ職務

何處ニ爲シテ、アルカト云フニ、アリ余ッテハトス弊害
ノミヲ見テ利益ノアル處ヲ志ル、勿レ世ノ事タル萬事相
對的ニシテ比較的ノモノナリ利ノ裏ニハ害アリ害アル側
ニハ利ノ存スルヲ自然ニシテ只其何レカ大ナルモノ、人目
ニ觸ルルモノナレバ利ニシテ大ナレバ之ヲ様ル又自然ナ
リ取引所ノ利益ハ前出ノ如ク大ニシテ所謂弊害ナルモノ
ヲ候フテ余リアリト云フ可シ勿論利大ナリトテ害ヲ顧ミ
ザルハ不可ナリ之ヲシテ利ニ變ゼシケルモノハ必要ナルハ
当然トス然レ氏永時、豆リ生じタル害ニ之ヲ一時ニ除去
シ得可シト思意スルハ誤リ宜シク漸ク以テ改メルニ如
カズ亦モ今之レガ故流ヲナス程弊害アリトモ覺エズ
轉賣買戻ナル方法ハ單ニ受渡タカシモノヲ未分受取ラザ
ル先ニ他ニ受渡シ又ハ一旦受渡シタルモノヲ未分引渡サ

ガレニ受取スルノナリ故ニ所謂空賣買ナル形状ヲ呈ス之
シ空賣買トシテモ實際單ニ相場ノ変動ヲ見越シテ始メヨ
リ物件引渡シ又ニ受取リノ意思ナカリシヤ否ヤハ推定ス
スルノ困難ナル内題ナリ故ニ其行為ニ依テ決セラルル可キ
モノハ信ズ即互ニ賣ラレトキハ買ハレトキハ見本ナリ
又ニ高標ナリヲ見テ為サレルモノナリ故ニ互ニ期限ニ至
レバ引渡シ受取ルノ行為ヲナス筈ナレバ他ニ如キ需要者
アル故ニ之レニ供託ヲナサレトシテ方債行ハルルナリ而
シ其間ニ美観ノ利益ヲ攫得ス否引渡シ受取リノ行為ヲナ
ス筈ナリト当事者ノ意思ヲ推定スルヨリモ其賣買ノ行為
其モノヲ見レバ純然タル高取引ニアラズヤ引渡受渡ヲナ
スト在レハ当然当事者ノ隨意タル可シ何トナレバ合意ニ
依テ契約ノ解除ヲナスモノナレバナリ信用制度發達シ高

業進歩セバ大ナル取引ヲナス高人ニ所謂差金ニ依テ取引
ヲナスニ至ルノ明ナリ現物ノ收受ニ直接消費若ク相争ハ
スル者ノ向ニ吾々行ハルル可キモノトナラシ又取引所ノ差
金取引ニ於テハ賣買ノ目的物が直接ニ引渡サレザルハシ
差金一方が引渡シ乞フ片ハ引渡シサス義務アルモノナレ
バ空々漠々何ノ考モナク之ヲ為スヲ解バズ賣手ハ其物件
ノ引渡シ為ス術ヲ講じ得んモノナリトハ推定ニ為シ得可
キナリ何トナレバ取引人ハ非常ノ能カト考大ノ經驗ト
ヲ以テ諸所物件ノ生産地ヨリノ報道ヲ探リテ、アレハナ
リ赤毛布輩ノ関與シ能フ所ノモノニハアラザルナリ其常
ニ括テ添ソラ失敗スルハ当然ル可キ知ニシテ取引所ハ
其不都合ナルヲヤ世間ニ廣告シ商人以外ノモノが為取引
ヲナスヲテテ誠々ルモノナリ然ルニ世人ハ以犠牲究テ憐し

其事情、取引所ヲ目シテ賭博所ト叫グ爲自身ニアラズン
バ到底其雌雄ハ決セラル可キ、アラズ概シテ一般人類ハ
逆境ノ位置ニアルモノニ對シテ何ノ考ナク同情ヲ寄スル
モノナリ赤毛布輩何ノ感カアルカヲ爲取引ハ非常ナル程
敏ヲ要シ種々ナル術策ヲ施シテ勝負ヲ争フニアラザレハ
散達セル社会ノ競争場裡ニ立テ難シ而シテ專ラ現在ニ目
ヲ注ガテ将来ヲ慮ラザル商人ハ甚達進歩セザルモノナリ
未来ニ注目シ之レニ向テ活動スルハ文明商人ニアリ故ニ
取引所ニ於ケル爲取引モ能ク其時口ハ長キヲ要シ其期間
ニ十分ノ作戦計畫ヲナスハ緊用ナリ三ヶ月長キニ似テ長
カラズ小資本ノ商人ハ此向ニ奔走シ資本ヲ潤達シ輸贏ヲ
争フ盛ナリトキヲ可シ然レ凡一朝不運到産ノ悲運ニ急ニ
シテ不熟練ノ致ス所生存競争ノ結果又止テ得ザルナリ

三

若シ期間ヲ減サセバ此等ノ輩ハ已ニ業ニ命脈ヲ絶ケル
ルモノナラシニ期間長キニ依テ種々ナル術策ヲ用ツル
ヲ得シハ商人自身ニ取リ利益ナルノシナラズ社会ノ劣
亦利ナリト云フヲ得シカ即買合ナドニ依テ便稅賸賣スル
ト見レバ一方ヨリ賣手表ハ其感ニ賣リニ掛ル可シ茲ニ於
テ便稅ハ下流ノ業ト名ニ失敗ス斯ノ如クナレバ便稅ノ變
動ハ極ヨリ極ニ速スルヲナク常ニ或真ノ前後ニ於テ僅
變動ス又揮級ナル商人ハ敏活ナル交通機關ヲ常ニ利用ス
ルヲ以テ些細ノ出来事カ直ニ便稅ニ變動ヲ来サシム然レ
ハ益便稅變動ヲシテ其巾ヲ小ナラシム故ニ出来事ノ大ナ
ラザル内ニ已ニ便稅ニ影響シ居ルモノナレバ急激ニ其下
スルヲナシ然リ而シ期間短縮ハ絶對的ニ長期ニ於ケル弊
害ナルモノヲ匡正シ得可キ、アラズ却テ極端ナル弊害生

バルトナキカ且ツ。後達ス可キ高取川片ニ打撃ヲ加フル
モノナリ

以上述べタル所ニ依テ大体取引所ナルモノヲ論ジ得タリ
ト信ズ而シテ又世ノ取引所ヲ曲解シテ嫌悪スルガ如キモノ
ニアラズ却テ之ヲ發達セシムルモノ必要ナルヲ知シリ然
レ氏其取引方法ニ。種々アリテ局外者ノ誤解シ易キモノ
亦敢テサカラズ取引人ノ目ニテ相場師ト呼ブ又偶然ナラ
ザルヲ知レリ

我國ニ於テハ明治十七八年、頃ヨリ取引所ノ問題ニ社会
ニ喧傳セテシ。越海沖騰ノ結果取米取引所ノ視察トナリ聽
テ取引所ノ改革トナレリ當時ニ取引所ヲ發達セズ諸種
ノ弊害ニ但織ニアリシニ取引所（音隨ル空知取引）其者ニ就テ論議スルニ
ノ十カリキ降リニ三十年前ヨリ復此向致ニ感ニ討議セラル

ルニ至レリ今回ハ已ニ定期取引ノ發達ヲ来タシタリ時ナ
レバ之レガ性憤ニ就テ申論セ取或ハ三ヶ月ヲ度シテ一テ
月制トス可シ或ハ半ヶ月或ハ一週間ニ改テ可シトド學者
實業者ニ互ニ研究スル所アリタリ而シテ復取米取引所ノ視
察ヲトスモノアリテ定期取引期限尙多シ更ニ但後ノ問題
ニ移リタリ然レモ未ダ二十六年來ノ取引所片ニ改正セラレ
タル所ナキガ如シ取米諸國ニ於テモ亦盛ニ論議セラレシ
所ノモノナレバ今ハ。殆ド之ヲ是非スルモノナシ我國ハ
彼等先進國ガ百年前ノ當時為シタル事ヲ繰返シ居ルモノ
ナリ故ニ何所ニテモ取引所ガ社会ノ問題トナルハ明ニシ
テ我國モ今ヤ而降テ地固マルルノ境遇ニアルニ。アラザ
ルカ或ハ雜誌ニ或ハ演説ニ取引所ノ改革ヲ唱フル者アル
ニ社会ノ為ノ喜ガ可キ現象ニシテ早晚立派ナル取引所ノ

存在ヲ認ケルヲ得ニ茲ニ至ラ^ニ巧ニ法網ヲ繰ル所ノ不正取
引人^{アリ}ニ其跡ヲ絶シザルヲ得ザラシメ^ルニハ此ヘズ孰法又
ニ新同紙ニ之ニ是ヲ徳儀ノ不正行為ヲ暴露シ血ヲ以テ血
ヲ洗^フニ如カズ即社会的制裁ヲ加^フルニ依テ取^ル所改良
ノ一端トナスヲ庶幾ス

(終)